



平成 26 年 6 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社ジーンテクノサイエンス
代 表 者 名 代表取締役社長 河 南 雅 成
(コード番号: 4584 東証マザーズ)
問 合 せ 先 執行役員管理部長 上 野 昌 邦
(TEL. 011-876-9571)

株式会社ジーンデザインとの核酸共同事業契約締結に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 6 月 12 日付で、核酸医薬品開発プラットフォームの事業化を目的として、株式会社ジーンデザイン（本社：大阪府茨木市、代表取締役 湯山和彦、以下「ジーンデザイン」）と共同事業契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 核酸医薬品の開発環境

核酸医薬品は、従来の医薬品とは全く異なる作用機序での創薬が可能であり、副作用も少ないことから、抗体医薬品に続く次世代医薬品として期待が高まっております。一方で、核酸は体内で分解されやすいことから、患部まで薬剤を運ぶための DDS（ドラッグデリバリーシステム）が必要であり、この点が核酸医薬品開発の大きな障壁となっております。現在、核酸の作用機序や DDS の研究は世界中で活発に行われており、これらの技術革新によるブレイクスルーによって多くの新薬シーズが創出されることが期待されております。さらに、核酸医薬品候補の一つとなる microRNA は、iPS 細胞の分化誘導や再生医療のキー分子としても注目されており、核酸は幅広い分野で応用されることが予想されます。

2. プラットフォーム提供による収益獲得

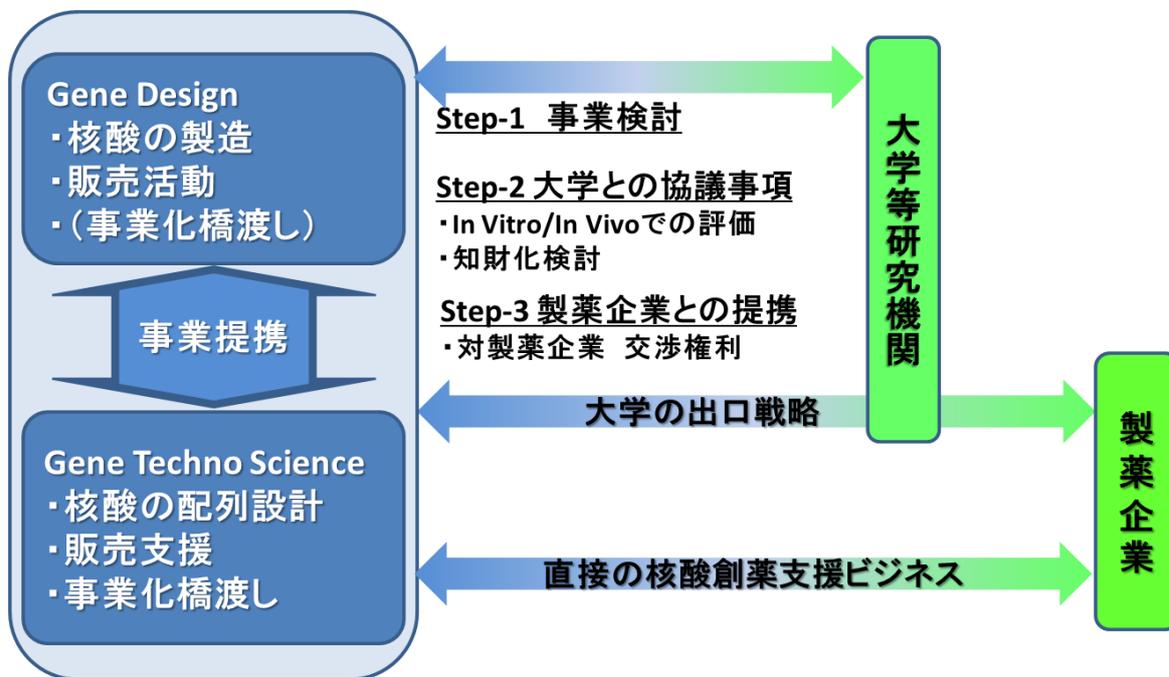
この度、ジーンデザインの有する核酸医薬品製造技術と当社の配列設計ノウハウを融合することで、新たな核酸医薬品開発プラットフォームの提供が可能であると考え、同社との共同事業契約の締結に至りました。本共同事業では、核酸医薬研究に携わる大学や公的研究機関のニーズに応じた核酸医薬品を設計・提供するとともに、製薬企業への出口戦略についても支援してまいります。このような活動を通じて、日本発の新たな創薬シーズの発掘及び事業化を目指し、核酸医薬品の設計・提供から得られる収益だけでなく、知的財産権に基づく製薬企業からのライセンス収入の獲得につなげたいと考えております。

3. 自社テーマへの応用

当社は、核酸医薬品開発において重要な役割を果たす DDS 技術についても、経済産業省の平成 25 年度「個別化医療に向けた次世代医薬品創出基盤技術開発（国際基準に適合した次世代抗体医薬品等の製造技術）補助事業」において、核酸医薬品－抗体コンジュゲート（NAC）の基盤技術開発

に着手しております。当社は、早期に核酸医薬品に関する開発プラットフォームを構築し、抗体に並ぶ基盤技術の一つとして積極的に活用し、新たな新薬シーズの創出を目指してまいります。

4. 提携スキーム



なお、現時点において本件による当社の平成 27 年 3 月期の業績への影響は軽微の見通しでありませんが、早期の事業化と自社テーマへの応用により、企業価値のさらなる向上を目指してまいります。

以 上